



今こそ「ONE TEAM」となり、JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守ろう

2021年3月5日

日本鉄道労働組合連合会

JR連合北陸地協・JR西日本連合金沢地本
2021春季生活闘争勝利総決起集会

組織の総力を挙げ加盟単組が「ONE TEAM」で！

3月3日、JR連合北陸地方協議会とJR西日本連合金沢地本は、2021春季生活闘争勝利総決起集会を開催し、組織の総力を挙げ、加盟全単組が「ONE TEAM」で、2021春季生活闘争勝利に向け、闘い抜く決意を固め合った。

冒頭、挨拶に立った沓掛勇介議長（JR西労組金沢地本執行委員長）からは、JR産業を支え、社会的役割を果たすために、職場で奮闘し続ける多くの仲間に敬意を表すとともに、グループ一体となった安全確立をめざす取り組み、コロナ禍の感染対策、これまでにない経営状況下で取り組んだ昨秋の『JR産業に関わる緊急政策課題の解決を求める署名』への取り組みにもふれ、参加者に対し引き続きの積極的な運動展開を促した。そして、集会のメインテーマである2021春季生活闘争については、経験したことの無い環境下での闘いになるとした上で、「組合員の雇用と生活を守るため、総力を挙げて運動を展開していこう」と力強く決意が述べられた。



JR連合からは北村公次労働政策部長、JR西日本連合からは本田雅明副議長（JR西労組中央副執行委員長）が参加し、JR連合の闘争方針、各社が抱える経営課題等の共有を図った。そして、集会に参加した、JR西日本連合加盟のジェイアール西日本金沢メンテック労組・ジェイアールサービスネット金沢労組・JR西労組西バス地本金沢支部・関西工機整備労組、さらに北陸地協のJREユニオン新潟地本・JR西労組金沢地本の代表から、今闘争に臨む決意表明が行われた。

その後、総決起集会アピールを採択し、沓掛議長の団結がんばろうで、2021春季生活闘争勝利に向け、力強く運動を展開することを意志統一した。